



会 長 函 師 義 孝  
 副 会 長 石 田 喜 克  
 幹 事 山 口 順 一  
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~  
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F  
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4  
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第 1773 回 平成 25 年 2 月 7 日 プログラム

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘        | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング   | 8. BOX披露     |
| 国歌斉唱・奉仕の理想    | 9. 各委員会報告    |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 会員卓話     |
| 4. 会長の時間      | 11. 次週例会案内   |
| 5. 幹事報告       | 12. 点 鐘      |
| 6. 出席報告       |              |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

2月の月間テーマ

世界理解月間

### 本日の例会案内

\*米山ランチ

\*月初めのセレモニー

\*会員卓話—関君・佐々木君

\*理事会

### 次週例会案内； 2月14日 (1774回)

\*外部卓話—黒木郁朝様 (えほんの郷 村長)

\*血圧測定

## 第 1772 回 例会内容

### ■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。  
 一週間のご無沙汰でございます。

本日は、「自分の夢を話し合おう」についてお話しします。

本田健という方は、「ユダヤ人大富豪の教え」という本を出して有名になっています。彼がインターネットの中で「幸せな金持ちは自分の夢を語り合って、お互いの夢を応援し合う仲間困まれて生活している。普通の人はそのような仲間が少ない。自分だけの力で夢への情熱を長い期間持ち続けることは難しい」と言っています。この厳しい社会環境の中で、夢を語るより、今現在をどう切りぬいていくかの方が先だと思われるでしょう。でも夢を語り合うにはお金はいりません。そして夢には大きな力があり、それを実現する大きな原動力になると述べています。ナポレオン・ヒルの成功哲学 (思考は現実化する) でも同じような事が書いてあります。そのような友を持ってみたいと思いませんか。ロータリーはそのような友人を見つける最良の場だと思いませんか。

今日もロータリーを楽しんで下さい。



### ■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

\*2月のロータリーレート

1ドル=88円

\*次期クラブ社会奉仕委員長

地区セミナー開催のご案内

日時 平成25年3月24日

12:00~24:30

場所 城山観光ホテル 登録料 2,000円 (食事付)

\*西都RC 2月の例会案内

2/5 クラブフォーラム 2/12 会員卓話

2/19 夜間例会・会員卓話 2/26 外部卓話

\*書き損じハガキ、切手、テレカ送付報告について

\*赤い羽根共同募金・街頭募金協力のお礼と感謝状

高鍋町内寄付金額 247,021円

当クラブ寄付金額 37,074円



### ■出席報告

出席委員長 石井秀隣君

出席状況

会 員 数	50名
出席会員数	37名
ホーム出席率	77.55%
前々回修正出席率	79.59%



## ■BOX披露

### 親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

藤本範行君 県高校新人バレー大会のためIMに参加できませんでした。報告を楽しみにしています。

橋口清和君 東京で開催され

た大会で姪の作成したバックが厚生労働大臣賞を受賞しました。そのレプリカバッグをプレゼントしてくれました。



## ■IM 報告

今回のIMのテーマは

【奉仕を通じて平和を】

でした。

“奉仕を通じて平和を”というテーマのもと、延岡出身でインド国際子供村の代表である大神のり子さんの基調講演が行われました。

このインド国際子供村とは、子供たちの夏休み期間中にインドでキャンプを開催して国際交流を深める活動を行っているそうです。その大神のり子さんが延岡出身ということもあって、延岡東ロータリークラブが中心となり、インドで活躍をされている大神のり子さんに延岡東ロータリークラブの当時の会長さんだったかと思うのですが、私たちが何か役に立つことはないのかと申し出たところ、インドでのトイレ普及率が悪い事を大神さんが告げると、インドの小学校にトイレを設置しようという動きにつながっていったそうです。そこで延岡東ロータリークラブは、マッチンググラントという方法をつかって、トイレ設置を実現したそうです。私はマッチンググラントという言葉をはじめて耳にしたので、帰って調べたところ、【ロータリー財団は、2カ国以上のロータリークラブや地区が関与する国際奉仕のために各クラブや地区から寄せられた寄付金に対し、一定額の補助金を組み合わせて支給するしくみ】とのことでした。

今回はそのマッチンググラントを用いた取り組みで延岡東ロータリークラブと延岡ロータリークラブ、インドのマデュールロータリークラブ、この3クラブとロータリー財団が資金を出し合い日本円で約160万円をかけてインドの小学校にトイレを寄贈したそうです。昨年の1月に完成し、小学生の衛生環境の改善や学校生活の充実に結びついているそうです。このような取組みの説明も良い話で大変勉強になったのですが、それよりも考えさせられたのが「平和とは何か」を各クラブの代表が発表したIM後半部分が非常に印象に残っています。

我がクラブには残念ながら指名はなかったのですが、他のクラブの代表が平和についての自分自身の捉え方や考え方など述べられました。

ここでネットエイジアという会社が平和についてのアンケート調査を行った結果がスライドショーでながれ、

### 木浦亨英君



これは良い内容だと思い急いでメモを取ろうとしたがあまりにも内容が膨大だったので追いつかず断念し、調査会社だけはメモが取れたので帰宅して早速忘れないうちに検索しアンケートが公表してあったので引っ張ってみました。

IM最後の映像の観賞では海外の幼い子供がおそらく何らかの紛争にまきこまれ腕や足などに瀕死の怪我を負っている映像や恐らく亡くなっているであろう映像など、中には目をそむけたいような映像もあり心中穏やかではなかったですけれども、今年度のRI会長が掲げる「奉仕を通じて平和を」の言葉の根源にある「平和」について考えさせられた非常に意義深い一日でした。

## ■IM 報告

先日参加させて頂いた「インターシティミーティング(IM)」について報告します。

その前に、このIMの案内があった時、私の頭の中では「IMって何だろう」

の？マークが駆けめぐり、例会の後先輩方に、「IMは何の略称ですか？」と質問すると「インターシティミーティングだよ」と答えが返り、益々何のことだろうと？マークだらけになりました。その先輩によると、「ロータリアンの勉強会だから、気楽に参加して下さい」とのことです。「まあ行けば解るか」と思い行ってきました。

大会のプログラムを読むと、主催者挨拶の中に、「申すまでもなく、インターシティミーティングとは、“都市連合会”のことで、目的は会員の親睦と知識を広め、更に会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されるもの」とあり、ここでも「都市連合会とは何ぞや」と思いましたが、それはさておき、研修会はテーマである「奉仕を通じて平和を」について各地区の参加者が活発な意見を発表されていました。

さて、大会では「奉仕」と「平和」に焦点を当て討議されています。「奉仕は生き方」つまり、人として高い目的や目標を持ち人生を送れば、人のために役立つことが、自分の人生にとって最も大切なことであり、奉仕をすることが、平和に繋がると云うことを強調されていた様に感じています。

基調講演の中で、大神さんは「世界中の子供達が仲良くすることが世界平和の実現の一番早い道」であるとの信念でインド国際子供村「ハッピーバリー」を設立しましたと話されています。大神さんの言う、一人一人が持っているはずの「人間の使命」について考え、実現することも、「平和」へ一歩ではないでしょうか。

ここで、全体討議の最後にVTRで流れた、北方中学校3年、宇佐見正志君が長崎平和記念公園を訪れた際の作文を紹介させていただきます。全文読んでみたくて、財津さんに頼み、日向ロータリークラブから取り寄せて頂きました。題は「長崎の風」です。

### 緒方郁男君



最後になりますが、クラブへの入会間もない私がロータリアンとして何が出来るか、まだ何も解りませんが、例会に出席し、今回のような勉強会に参加することで少しでも理解していきたいと考えています。

『「長崎の風」 北方中学校3年 宇佐見正志』

八月六日午前八時十五分、八月九日午前十一時二分、八月十五日正午、テレビから流れる「黙禱」という声に合わせ、今年は僕も一分間の祈りを捧げました。一分間の黙禱のうちに消えた命の多さ、長い戦いの末迎えた終戦に安堵した人々の思いなど、平和に対する思いを考えてみました。

日本は唯一の原爆被災地として、いつも世界に向けて、平和のメッセージを送り続けています。

今年、僕は初めてメッセージを受け取りに長崎に旅行へ行きました。原爆落下中心地とその北側に、世界平和を願って造られた公園があり、その中央の大きな平和祈念像が目を引きました。「天を指す右手は原爆の脅威、水平に伸ばした左手は平和を示し、閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈る」姿として、そびえていました。

また、世界各国から送られた平和の像が建ち並び、水を求めてさまよった少女の手記がきざまれた「平和の泉」が清らかな水を噴き上げ、涼しさを醸し出しながら溢れんばかりに満ちていました。

僕はそれらの前で一瞬、猛暑の中でも風を感じ、亡くなった人々の悲しい思いにつつまれてしまいました。一瞬の閃光によって奪われた命。その時、人は何を思ったのだろうか。まさか、自分が死ぬんだという感覚はあったのだろうか。自分の意志とは関係なく奪われた命の多さ、残酷な行為は戦争が犯した悲しい行為の何物でもないことを、公園の風景が物語っているように思いました。

今、自分が生かされているのは当然のことではなく、家族や社会の庇護の下、守られているのだと思いました。長崎で過ごした夏は僕にとって、平和の大切さと、これからの平和存続のために何をなすべきかを問われたように感じられました。新聞やテレビなどでしか知らないけれど、戦争は他国ではまだ、繰り返されています。僕は、その記事に目をつむるのではなく、年の差もない少年が自分の意志に関わらず、銃を持たされ、戦っていることなどを、知らなくてはならないと思いました。僕は戦争という武力の前では、無力です。しかし、自分の周りの平和を安心に変え、暮らしていくことはできると思います。僕は、僕をとりまく人々に対して、言葉を選び、お互いが傷つけあうことを避け、信頼できる関係をつくることからできる、小さな平和が大きな平和の一つにつながっていくのではないかと思います。長崎からのメッセージは、世界恒久平和です。僕は、人間の信頼関係から生まれる、平和へのメッセージを発信できる人間になりたいと思っています。

長崎で感じた風は、僕に平和を考える心をくれました。僕は、その時に得た思いを、僕の平和のメッセージとして発信したいです。』

◇情報集會—会員卓話

図師義孝君

私は、最初は昭和の時代に入会です(1980～1981年度)再入会は(2001～2002年度)です。つまり出戻り会員であります。同じ年に入会されたのは、河原好秋さん、黒木敏之さんです。昔の話、辞めた理由、再入会の事とかについて話してみたいと思います。

入会して3年間無欠席でお祝いのバッジも頂きました。辞めた理由は入会を勧めてくださった方が辞められた事と、まだ私も36歳で若く奉仕の事が理解出来てなかったようです。1982～1983年度の会長が島子さんでした。自宅にも行かせて頂き、ロータリーの事を熱心に話して頂いた事を思い出します。

現在、出戻り会員は4名です。再入会は辞めてから18年後です。通年15年目になります。

ロータリーは出席する事に意義があり、幹事、そして今年会長の大役を頂き、大変というより楽しさを頂いております。絆の元、原点を見つめながら、思いやりの心で取り組んでいる所です。任期まで5ヶ月となりました。

先輩諸氏が育ててこられた伝統を守りながら頑張りたいと思います。



『メイクアップしましょう』 中部分区クラブメイクアップ会場 出席委員会		
月	宮崎南 宮崎東	宮崎観光ホテル西館8階 ウェルシティー宮崎
火	宮崎 西都	宮崎観光ホテル ウェディングパレス敷島
水	宮崎北 佐土原	ホテルマリックス サンホテルフェニックス
木	宮崎中央	サミット・クリスタルルーム
金	宮崎西	宮崎観光ホテル
高鍋ローターアクトクラブの例会日 第1・第3月曜日 19:30～ 場所;宮日会館		